

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】
【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】



Vol.101

第12回国見町に咲く中尊寺蓮絵画コンクール表彰式

今年も美しく咲いた「中尊寺蓮」や国史跡「阿津賀志山防塁」を題材にした絵画コンクールは48作品の応募があり、主催する（一社）二重堀サポートネットワークによる表彰式が10月4日に行われました。

それぞれの視点で花・葉・防塁・山並み・昆虫や動物をよく観察して描かれた、素晴らしい5点の最優秀賞作品に対して、賞状と記念品が授与されるとともに毛利周一審査委員長（元梁川美術館長）から講評が行われました。

入選した23作品は10月26日まであつかし歴史館で展示し、訪れた方々は力作ぞろいの作品に見入っていました。



各部門で最優秀賞を受賞された皆さん

秋の収穫に感謝！あつかしまつりを開催しました！

10月19日、あつかし歴史館で「あつかしまつり」が開催され、会場には約120人が来場されました。たくさんの親子が訪れ、ハロウィンライトづくりや芋煮、あつかし市場を楽しんでいました。また、福島県文化財センター白河館（まほろん）との連携事業として、原始・古代の装身具である勾玉づくりや狩猟方法である弓矢体験が行われ、歴史に触れた1日となりました。

あつかし歴史館では四季折々のイベントを開催しています。次回は、「ひなまつり」のイベントを3月に開催予定です。お楽しみに！



世界に1つだけのハロウィンライト



勾玉づくりに挑戦！



来場者プレゼントのわたあめに大喜び



1時間以上、弓を射続けた強者も！

— Activity Report —

Vol. 58

地域おこし協力隊活動日記



さいとう 友希
齋藤 友希



おおとも みずき
大友 瑞希

香りのブランド Lives (ライズ) 始動！

こんにちは！地域おこし協力隊2年目の齋藤友希と大友瑞希です。

私たちは、国見発の香りのブランド「Lives」での活動を本格的にスタートしました。9月には「盆地と里の芸術祭」に参加し、「今日とふるさと」をテーマに、木の香りをメインとした香りを調香し、多くの方に体験していただきました。

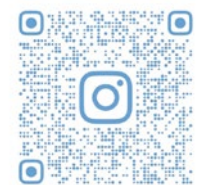
10月からは、奥山家住宅洋館を活用したワークショップ「ときほぐす」も始まります。草木やハーブ、漢方をテーマにした体験や、コーヒーを飲みながらのゆったりとしたお茶会を楽しめる内容です。今後の開催情報はInstagramで発信していきますので、ぜひフォローしてチェックしてください！



▲盆地と里の芸術祭で短歌とオリジナルの香りの展示



▲盆地と里の芸術祭ではクローゼットタグにオリジナルの香りを吹きかけて持ち帰ってもらいました



@AISTI_PLOION
▲ワークショップ等の情報



@LIVES_FK
▲香りのブランド

国見の民話 かるた

【第二十九回】
おふかさんのほなし

【明治の世とんとてた婆ちゃん おふか婆ちゃん】



昔、山崎の伝右工門という百姓頭に、「おふか」という一人娘がいました。このおふかさん、一人娘のせいか、有名な氣まま娘。山崎から藤田の町へ買い物に出かけたり、仙合の祭りに行ったり、梁川に歌舞伎芝居があれば、一週間夜道を歩いて通いつめたりと、人々をびっくりさせていました。

ふれるおふかさんは、いともたつてもいられず、はるか遠い四国の金毘羅参りに行きました。何せ女一人旅、護身用に懐剣をしのばせ、小さな植木鉢の底に金を隠し首に下げながら歩いたそう。金毘羅参りで買った大きな天狗のお面を背負い、土産話とともに意気揚々と帰ってきました。

女性の自由がなかった時代に、氣ままと言われようが気にせず、生き生きと豪快に生きた女性のお話です。